

Improving the Management of HIV Diseases

症例から学ぶHIV感染症診療のコツ

めまぐるしく変わる治療ガイドライン、副作用、交叉耐性、服薬アドヒアランスなど、マニュアル的な知識だけでは対処が難しいHIV感染症の診療。どのような視点、方法で診療をすすめて行くのか、そのノウハウを解説します。

本企画は、米国で治療ガイドラインを出している専門家団体「International AIDS Society-USA」が臨床医・薬剤師・開業ナースのトレーニングに採用しているInteractive Methodを用いて行います。

日時 2000年11月30日(木)15:15~17:30

会場 京都テルサ テルサホール

京都市南区東九条下殿田町70(新町通九条下ル)

本セッションは公開のため、参加登録費は必要ありません。

【参加対象】現在及び今後HIV診療に携わる臨床医・薬剤師等 定員300名

【参加登録方法】事前登録用紙(裏面)を事務局へFAXにてお送りください。

満席の場合は事務局より連絡させていただきます。

*当日受付は残席分のみになります。

プログラム

第1部

座長: 岩本 愛吉 先生(東京大学医科学研究所 教授)

「Critical Issues Antiretroviral Therapy」

Dr.Daniel Kuritzkes

(University of Colorado, Health Science Center)

第2部

座長: 青木 眞 先生(感染症コンサルタント)

「Interactive Session - 症例から学ぶHIV感染症治療のコツ」

Dr.Daniel Kuritzkes・岩本 愛吉先生

共催: 第14回日本エイズ学会学術集会・総会
グラクソ・ウエルカム株式会社

協力: International AIDS Society-USA
抗HIV薬の効果的な服薬援助のための検討会